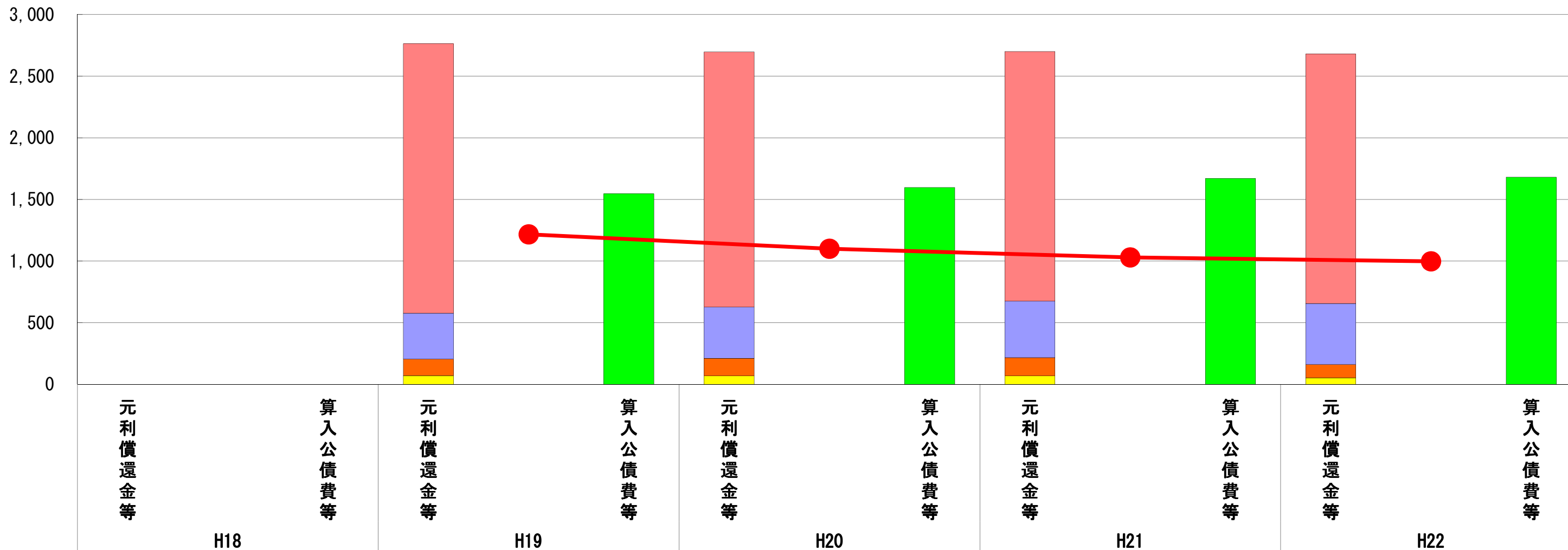


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

岩手県大船渡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	2,186	2,069	2,025	2,023	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	372	417	458	495	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	135	142	147	108	
	債務負担行為に基づく支出額	-	70	69	70	53	
	一時借入金利息	-	0	0	0	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	1,546	1,597	1,670	1,681	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	1,217	1,100	1,030	998	

## 分析欄

元利償還金：合併直後からの普通建設事業の抑制により、公債費が縮小しています。  
 公営企業債の元利償還金に対する繰入金：公共下水道施設整備事業等により増加傾向です。  
 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等…大船渡地区環境衛生組合における埋立処分地施設整備事業及び積込中継施設整備事業に係る負担金の減額により、平成22年度は大幅に減少しています。  
 債務負担行為に基づく支出金：社会福祉法人が施設の建設のために借り入れた借入金の償還に対する補助金等で、新たな事業を行っていないこと平成22年度は減少しています。  
 算入公債費等：過去の起債に対する基準財政需要額であり、微増となっています。  
 実質公債費比率の分子：元利償還金が年々減少し、算入公債費等が微増なので、確実に減少傾向となっています。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。